

# リスクに向き合う

## ～危機に備えたまちづくり・くらしづくり～

### 講座概要

#### 第1回

#### 私たちの周りにおけるリスクとそのマネジメント

6.5 [土]

Covid-19の蔓延は、私たちの周りのリスクを改めて意識させましたが、身の回りのリスクはそれだけではありません。科学技術、災害、様々な事故、ネットを含めた人間関係のリスク等、実は多種多様なリスクに囲まれて私たちは生活しています。それらは社会的にも管理（マネジメント）されている一方で、個人としてマネジメントすることで安全・安心を確保できます。本講座では、身の回りのリスクを概観すると同時に、そのマネジメントの考え方について紹介します。

講師：村越 真（静岡大学教育学部/防災総合センター・教授）

#### 第2回

#### 化学のチカラで感染症に立ち向かう

7.10 [土]

わたしたちの生活は医薬品、農薬、食品、化粧品などを多くの有機化合物に支えられています。有機化学は、有機化合物の形や振る舞い、作り方や使い方を研究する学問です。新しい機能を持った有機化合物を合理的にデザインして合成することは、有機化学の重要な使命であり、わたしたちの生活を豊かにするきっかけになります。本講座では、実社会に関連した有機化合物の化学を概観するとともに、感染症に立ち向かう有機化合物について紹介します。

講師：鳴海 哲夫（静岡大学工学部・准教授）

#### 第3回

#### ネットのリスクをどう教えるか

8.28 [土]

わたしたちの周りには様々なリスクがあります。特に、子どもたちの周りには、交通事故、SNSでの炎上など様々なトラブルにつながるリスクが溢れています。本講座では、「SNSなどのネットのリスク」をテーマに、リスクをどのように教えていくかを紹介します。

講師：塩田 真吾（静岡大学教育学部・准教授）

#### 第4回

#### 感染症のリスクに向き合う

9.25 [土]

新型コロナウイルスの話題の中で、「正しく恐れる」という言葉を最近よく耳にします。ウイルス感染を軽んじることは問題ですが、ウイルスに対する不安から、感染者や医療従事者などに対して差別的な対応をとってしまうなどの事例も発生しています。感染症のリスクに適切に備えるため、ウイルスはどのように増殖するのかといった感染症の原因ウイルスの特徴とその対処法などをご紹介します。

講師：鈴木 哲朗（浜松医科大学医学部・教授）

#### 第5回

#### 感染症ウイルスを測る

10.16 [土]

人類は、歴史が始まって以来細菌やウイルスといった病原体との果てしない戦いを続けています。感染症による被害を最低限に止めるためには、迅速に病原体を同定する必要があります。本講座では、人類がどのような方法で病原体の姿を捉え、対処してきたのか。現在のどのような方法でウイルスの存在を確認しているのか。今後血糖値を測るようにウイルスも簡単に迅速に測る技術はあるのかについて概説します。

講師：朴 龍洙（静岡大学グリーン科学技術研究所・所長）

時間○14:00～16:00

会場○あざれあ(静岡県男女共同参画センター)

6F大ホール

定員○各回115人 受講料○無料

主催○静岡大学、読売新聞東京本社静岡支局

※全5回中4回以上ご参加の方には修了証を発行します。  
※本講座は「静岡県民力レッジ」の連携講座です。



[住所]〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

[アクセス] JR静岡駅から国道1号線沿いに西(安倍川の方)へ徒歩9分